

神戸アイセンターの一年

平成29年12月1日開設



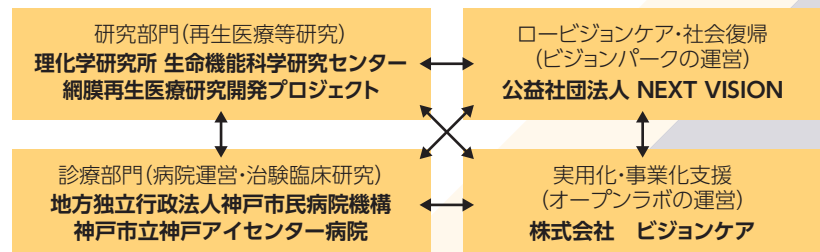
神戸アイセンター病院 病院長
栗本 康夫

理化学研究所BDR
網膜再生医療研究開発プロジェクト
プロジェクトリーダー
公益社団法人 NEXT VISION 理事
高橋 政代



公益社団法人 NEXT VISION
代表理事
三宅 養三

眼科領域の基礎研究、
臨床応用、治療、
ロービジョンケアまで
対応する眼の
ワンストップセンターを目指して



神戸アイセンター病院

院長あいさつ

神戸アイセンター病院 院長 栗本康夫

神戸アイセンター病院を開院して一年が過ぎました。
お世話になった皆様に厚く御礼申し上げます。
引き続き、当院の使命である、質の高い眼科標準医療の
提供、最先端の眼科高度医療の提供、次世代眼科医療の
開発、視覚障害者への支援に全力で取り組んで参ります。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



病院概要

病床数 30床 (1床室×6、4床室×6)

診察室 10室

手術室 2室

平成29年12月1日～平成30年9月30日までの実績

延外来患者数 34,973人 (1日172.3人)

延入院患者数 6,089人 (1日 20.0人)

平均在院日数 3.8日

手術件数 2,032件 (1日 10.0件)

手術内訳

項目	件数
白内障手術	1,657
硝子体手術	385
緑内障手術	134

その他

項目	件数
硝子体注射件数	1,658
レーザー治療件数	308

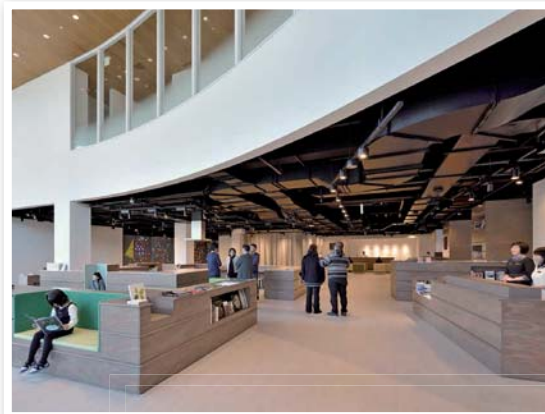


公益社団法人 NEXT VISION

代表理事あいさつ

公益社団法人NEXT VISION 代表理事 三宅 養三

公益社団法人NEXT VISIONは理事でもある理化学研究所・高橋政代先生の長年にわたるiPS細胞を用いた網膜再生の研究の臨床応用に伴う神戸アイセンター創設構想の中で最重要課題と位置づけられた組織で、平成26年8月に立ち上がりました。NEXT VISIONは研究・治療・ロービジョンケア・リハビリ・社会復帰を一気通貫で解決することによって見えない・見えにくい人の社会復帰を進めるという世界にも例を見ない新しい試みなのです。平成29年12月に神戸アイセンターが完成し、2階のビジョンパークを舞台に見えない・見えにくい人だけでなく、すべての方への未来型医療がNEXT VISIONを基軸として始まりました。



平成29年

・12月16日 … NO LOOK TOUR

平成30年

・1月21日 … i see!
Working Awards2018

・5月20日 … 神戸発、視覚障害者雇用の
未来を考えるフォーラム

・9月15～16日 … 第27回視覚障害リハビリテーション
研究発表大会



平成29年12月1日～平成30年9月30日までの実績

連携協力団体と相談実施回数

- MDSiサポート (iPhone・iPad相談): 20回
- きららの会 (若年層の生活・就労相談): 10回
- 神戸アイライト協会 (生活・就労相談): 38回
- 神戸市立盲学校 (教育・就労相談): 18回
- 国立神戸視力障害センター (生活・就労相談): 39回
- 日本盲人会連合 (就労相談): 12回
- 日本網膜色素変性症協会 (生活相談とピアサポート): 57回
- 日本ライトハウス (生活・就労相談): 24回
- 兵庫県立視覚特別支援学校 (教育・就労相談): 17回

その他の実績

- アイセンター病院との連携カードによる相談件数: 474件
- ビジョンパーク見学件数: 120件、視察件数: 48件



理化学研究所 生命機能科学研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト

5階には高橋政代研究室のランチが入り、2014年の自家iPS細胞由来網膜色素上皮(RPE)細胞の移植に続く、他人の細胞(他家)iPS細胞由来RPE細胞移植を進めてきました。これは自家移植よりも多くの患者さんを対象とする治療の礎であります。

現在は、病院に近くなったこともあり、これまでの臨床研究で得られた知見をもとに、さらに良い治療のためにiPS細胞由来RPEの細胞一個一個の精細な解析や、多くの病院で治療できるようにするために細胞の保存方法や輸送方法を検討しています。

一刻も早く多くの方に有効な治療を届けるために研究員たちが毎日休まず努力しています。



株式会社ビジョンケア

ビジョンケアは、神戸アイセンター構想では、アイセンターから発掘される研究・医療・ロービジョンケア等の広域にわたる潜在的ニーズと社会ニーズに橋を架ける「未来型課題解決の可能性を創り出す」役割を担っています。2018年12月に正式オープンする5階オープンラボでは、再生医療を初めとする最先端の付加価値の高いニーズの課題共有イベントの開催や活発な議論の場を主催・主導することで参画パートナー様との共創による課題解決・実用化を推進して参ります。

具現化したモノあるいはシステムを、アイセンター病院・NEXTVISOINを社会実験プラットフォームとして幅広く活用いただくことで一層の研究開発の推進と実用化を目指して参ります。



関係事業紹介

公益財団法人 兵庫アイバンク

事業内容

兵庫アイバンクは、兵庫県下を中心とした角膜等の眼球組織の移植術により移植医療に寄与するために平成6年5月に設立されました。視力障害者の視力回復のための眼球を提供(献眼)いただき、角膜移植を待つ方へのあっせんを行うとともに、眼の衛生に関する普及啓発も行っています。

施設内での事業

アイセンター5階にラボラトリーを設け、角膜及び強膜の幹旋に向けての検査や加工・保存業務を施行します。兵庫県下をはじめ西日本の拠点となるべく活動を促進して参ります。



公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センター

事業内容

ノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑先生が理事長を務める神戸医療産業都市推進機構の細胞療法研究開発センターが、細胞治療を安全、確実に身近な医療とするための研究・開発を行なっています。

施設内での事業

神戸アイセンターの細胞培養施設は、神戸医療産業都市推進機構が設計に全面的に関わり、ITを活用した品質管理システムや高度な清浄度維持を可能にする設備レイアウトを採用するなど、最先端の施設となっています。実際の細胞培養をしながら再生医療の実用化に不可欠な培養技術の開発・確立を行います。

